

高奥神板 筥越え 山



奥神賀山頂のツツジは平家の落人たちがのろしをあげて口々に知らせしていたと伝わる。



梶ヶ森～高板山～三嶺一望

高原みどり美しい筥原

奥神賀山 1,443m

奥神賀様

大前塚の絶壁青ツツジ



香北境にある神賀山の神賀神社の奥の院。以前はここから尾根をたどって中都山の遥拝所を経て参拝する信者が多かったという。神賀神社大祭 11/1 奥神賀神社 先祭 10/20

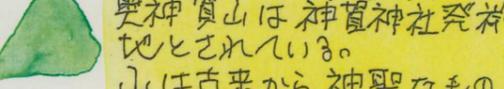
高板山は大日如来の住み山として神地や筥など広範囲な地域の人々に崇められ奥神賀山は神賀神社祭神の地とされている。山は古来から神聖なものとして親しまれ崇められているが、この奥深い山2はまさに神々の山嶺だ。

4月末、奥物部の山々はみずみずしい新緑の葉をまひらげはじめいた。今ごろは力強い深い緑をまとっていることだろう。

平家落人伝説が色濃く伝わっている。今回は行けなかったが安徳天皇の御陵も祀られている。

山全体と新緑個々の木々は新樹

平成の終わりと令和の始まり。時代の変わり目に何を思うのか。安徳帝ゆかりの高板山



四国岩

奥の院

高板山

不動堂

屋島の合戦で影人天皇を死して安徳帝一行は阿波に入り山中深く分け入って遁走。この時、剣山に七つの剣を奉納した。祖谷からこの高板山(赤井)に到り、仮宮を建てて宮中を母を思いながら10歳で崩御される。玉体はここに手厚く葬られ、御尊大御神として祀られる。依の成将は後醍醐天皇のように隠棲して帝の菩提を弔い続けたと伝わる。

高板不動堂では春(4月)と秋(10月)に安徳天皇をしのぶ「火渡り」などの祭礼が行われている。

柳の畑の上の面影は、さびし。

高板不動堂 大杉

天満宮大日寺

神池

上池村 下池村 神賀寺村 梶ヶ森村 高板村



ササは枯れているが樹木が多い。迂回して、くぐらばり苦まにくい。

矢笠山～綱附森よく見える

平坦地

木の美しい坂

注)筥越えは歩道なし

大豊へ

ササが深い

スズグサ深い

昭和63年開設

登山口高板

山頂

安徳帝もここから四国を眺めていたのかしらはない

見晴らしのよい岩場

八丈龍王 不動の童子が祀られている

尾根に出る

歩道と合流

岩屋

古く標高

巻道

国有林

しかり山道

不動堂跡 (鐘楼もある。不動堂跡)

道中リスをみかけた

造林作業路

杉水線

未舗装

高板不動堂

天満宮大日寺

神池

西峰へ

小松首～矢笠山へ

筥越え

人工林

作業路へ出る

さざや名のふるヒノキだったことだろう。

松高の白眉樹

根上りヒキ 天然ヒキ

小ピーク

金山シカのフン 白らいた。ダニにも注意。

ヤセ尾根

通行止の表示

中道標

三ノ森

二ノ森

高板山 1,427m

四国王目岩

不動明王座像

岩場。ロープが続くコース

道標

自然相手の林業の宿命。風害

三嶺。綱附森。白髪方面みえる

真村ワケヤが死んだ時のツツジ

道はし

尾根に出る

分岐

古くお堂

手水石

古くお堂

手水石

奥神賀より高板山

明賀へ

筥越え

その昔より、大豊の西峰と物部の筥を結ぶ。人が行き来した峠道。

軍の時代になり山から人がいなくなりこの峠を越す人がいなくなった。

踏み板への恐れ大。風倒木がふりまわす。

風倒木が多い

ツツジの大木も根こそぎ倒れている

2017年10月に香南市と麓下台風か? (21号)

不動明王座像

岩場。ロープが続くコース

道標

自然相手の林業の宿命。風害

三嶺。綱附森。白髪方面みえる

真村ワケヤが死んだ時のツツジ

道はし

尾根に出る

分岐

古くお堂

手水石

古くお堂

手水石

古くお堂

手水石

古くお堂

手水石

古くお堂

手水石

古くお堂

手水石

高奥神板

筥越え

山

高板山

高奥神板

筥越え

山

高板山

高奥神板

筥越え

山

高板山

高奥神板

筥越え

山

高板山

高奥神板

筥越え

山

高板山

高奥神板

筥越え

山

高板山

高板山